

外務審議官（経済担当）

G7 内閣総理大臣特別個人代表（シェルパ）

長嶺安政 様

2016年3月2日

私たち、「シリアの和平実現のために活動するネットワーク（シリア和平ネットワーク）」は、紛争以前のシリア国内での支援活動や紛争後の人道支援の現場などにおいて、紛争の影響を受けている一般のシリアの方々の声（添付ご参照）に触れ、シリアの和平実現を目指し活動を始めました。

シリア和平を巡る状況は、悪化の一途を辿っています。昨年12月には、国連安全保障理事会決議第2254号が採択されましたが、これまでシリア和平を妨げてきた欧米諸国の利害対立に加え、周辺中東諸国間の対立・緊張関係の高まりなどもあり、先行きは不透明です。

これまで以上の人道支援が必要です。

その一方で、根本的な和平を実現しない限り、いくら援助しても難民や犠牲者は後を絶ちません。

このような中、私たちは、2016年に日本において開催されるG7伊勢志摩サミットを、シリアの和平を実現するための重要な機会と捉えています。日本は、シリア及び中東地域の市民社会からも信頼が厚く、G7諸国の中でシリアの和平に対して特別な利害を有さない数少ない国です。また、2016年1月より国連安全保障理事会の非常任理事国となり国際的な責任もより大きくなった日本に対しては、その新たな役割への期待が高まっています。加えて、シリアの周辺諸国や欧州への難民の増加などを要因とし、G7各国政府がシリア問題をG7伊勢志摩サミットにおける主要アジェンダと捉えているとの情報も、各国の市民社会から寄せられています。

以上を踏まえ、G7伊勢志摩サミットの機会に、人道支援のみならず、以下2点についてご対応いただけますようお願いいたします。

1. 日本政府は、シリア和平プロセスにおいてリーダーシップを発揮してください。具体的には、G7の場で、国連安保理決議第2254号を踏まえた非軍事的対話プロセスの促進に向け、G7リーダーの議論をリードしてください。

また、この一環として、シリアの紛争終結と和平の実現に必要な環境醸成に向けて日本が次の3つの分野について行動することを提案いたします。

- ① 障害者を含む紛争被害者間の信頼醸成
- ② シリア人・日本人の有識者間の対話
- ③ 日本政府と市民社会による対話の促進

2. G7各国リーダーが、各国の利害を超えてシリアの和平に向けた非軍事的な解決について円滑な話し合いを行うよう、日本政府はG7各国リーダーに働きかけてください。

G7伊勢志摩サミットは、非常任理事国としての日本のシリア和平に向けたリーダーシップを世界にアピールするまたとない機会です。ぜひ前向きにご対応いただけますと幸いです。

以上

【シリアの和平実現のために活動するネットワーク（2016年3月14日現在、団体五十音順）】

特定非営利活動法人 A SEED JAPAN
公益社団法人 アムネスティ・インターナショナル日本
公益社団法人 日本国際民間協力会NICCO
特定非営利活動法人 アーユス仏教国際協力ネットワーク
特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン
特定非営利活動法人かもものはしプロジェクト
特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター（JANIC）
国際協力NGO ピースボート
非営利活動任意団体 NPOこどもと女性のイスラームの会
シリア支援団体 サダーカ
地雷廃絶日本キャンペーン（JCBL）
特定非営利活動法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
NGO非戦ネット
難民ナウ！
特定非営利活動法人 難民を助ける会（AAR Japan）
特定非営利活動法人 日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）
特定非営利活動法人 日本救援行動センター（JARC）」
特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター（JVC）
日本シリア親善協会
特定非営利活動法人 パレスチナ子どものキャンペーン
復興の玉手箱
特定非営利活動法人ヒューマンライツ・ナウ
ママリングス
みんなで作るシリア展
RAFIQ（在日難民との共生ネットワーク）
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン（WVJ）

【本件に関する連絡先】

シリア支援団体 サダーカ
森野謙（kenwoods101@gmail.com）
特定非営利活動法人 日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）
内海旬子（junko.utsumi@jim-net.net）
特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター（JVC）
並木麻衣（namiki@ngo-jvc.net）
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン（WVJ）
柴田哲子（noriko_shibata@worldvision.or.jp）